

- 問1 埼玉県にある稲荷山古墳から「ワカタケル大王」の名が刻まれた金錯銘鉄剣が出土した一方で、熊本県にある江田船山古墳からも同様に大王の名が記された鉄刀が見つかっています。これらの発見から推測される、5世紀後半における大和政権の状況として最も適切なものはどれですか。
(2017年 大阪府公立入試 類似)
1. 九州地方と関東地方の豪族が連合して、大和政権に対抗していた。 2. 大和政権の支配力が、九州から関東までの広い範囲に及んでいた。 3. 大和政権の本拠地が、近畿地方から関東地方へ移転した。 4. 朝鮮半島から伝わった鉄器の製造技術が、関東地方でのみ独占されていた。
- 問2 4世紀ごろ、近畿地方の有力な豪族たちが中心となって組織した大和政権において、各地の豪族を従えていた最高権力者の称号は、当時何と呼ばれていましたか。
(2024年 熊本県公立入試 類似)
1. 天皇 2. 將軍 3. 執権 4. 大王（おおきみ）
- 問3 日本列島の主要な地域を、九州北部、大阪付近、関東の内陸部、四国南東部の4地点に分けたとき、日本最大の前方後円墳である大仙古墳（仁徳天皇陵古墳）が位置する場所として最も適切なものはどれか。
(2020年 三重県公立入試 類似)
1. 大阪付近 2. 四国南東部 3. 関東の内陸部 4. 九州北部
- 問4 渡来人が日本列島にもたらした技術や文化のうち、当時のヤマト政権（大和朝廷）が組織を運営し、他国との交渉を行う上で、特に記録や伝達の手段として不可欠となったものはどれか。
(2017年 徳島県公立入試 類似)
1. 漢字 2. 仏教 3. 機織りの技術 4. 須恵器の製作技術
- 問5 古墳時代から飛鳥時代にかけて、大陸からの渡来人が伝えた新しい技術によって製作されるようになった「須恵器」について、その特徴や背景を説明したものとして最も適切なものを選択してください。
(2023年 愛媛県公立入試 類似)
1. 穴窯（あながま）を用いて高温で焼成された、硬質で灰色の土器である。 2. 野焼きという古い技法で焼成された、赤褐色で厚手の土器である。 3. 備中鍬や千歯扱きといった農具とともに、江戸時代の農業発展を支えるために開発された。 4. 宋から輸入された銅銭を溶かし、金属加工の技術を応用して作られた器である。
- 問6 古墳時代の日本において、朝鮮半島から伝えられた技術によって作られるようになった、高温で焼成される灰色の硬い土器を何と言いますか。
(2023年 新潟県公立入試 類似)
1. 須恵器 2. 縄文土器 3. 埴輪 4. 弥生土器
- 問7 5世紀の朝鮮半島にある伽耶（加羅）地域から大和政権が得ていた資源で、武人の埴輪に見られるような鎧や武器の材料となり、政権の武力強化に大きく貢献した金属は何ですか。
(2019年 群馬県公立入試 類似)
1. 銅 2. 鉄 3. 金 4. 青銅
- 問8 5世紀の古墳から出土する、甲冑（よろい・かぶと）を身にまとい、背中に矢を背負った武人の姿を模した土製品について、当時の社会状況を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。
(2026年 群馬県公立入試 類似)
1. 唐から伝来した仏教儀礼に基づき、寺院の門に配置される守護神を表している 2. 七支刀と呼ばれ、百済の王から贈られた最新の鉄製武器の威力を示している 3. 人物埴輪と呼ばれ、当時の緊迫した東アジア情勢を反映した軍事文化を伝えている 4. 弥生土器と呼ばれ、大陸から伝わった金属器の使用方法を儀礼的に示している
- 問9 ヤマト王権の王たちが「倭の五王」として中国の南朝へ繰り返し使節を送り、当時の国際社会において自らの地位を誇示しようとした主な背景と目的として、最も適切な説明はどれですか。
(2024年 栃木県公立入試 類似)
1. 大陸から稲作の技術を導入し、国内の食料生産を安定させるための指導を仰ぐため 2. 坂上田村麻呂を派遣して東北地方を制圧するために、強力な武器の支援を求めるため 3. 最澄などの僧を派遣し、仏教を日本へ正式に導入するための許可を得るため 4. 朝鮮半島における軍事的な指揮権を中国の皇帝に認めさせ、外交を有利に進めるため
- 問10 古墳時代、朝鮮半島から日本列島に移り住んだ人々によって、新たな土器の製作技術が伝えられました。専用の窯（かま）を用いて高温で焼成されることで、それまでの土器に比べて非常に硬く、色が灰色をしていることが特徴の土器を何と呼びますか。
(2018年 長崎県公立入試 類似)
1. 弥生土器 2. 須恵器 3. 縄文土器 4. 土師器
- 問11 3世紀ごろの中国大陸の情勢と、当時の日本との関わりについて述べた文として、内容が正しいものを一つ選びなさい。
(2016年 和歌山県公立入試 類似)
1. 唐が周辺諸国を従える強大な帝国を築いており、日本からは律令制度を学ぶために遣唐使が送られた。 2. 隋が南北に分裂していた中国を統一した時期であり、聖徳太子が小野妹子を派遣して交流を深めた。 3. 魏・呉・蜀の三つの国が分立して争っており、邪馬台国の卑弥呼はそのうちの魏に使いを送った。 4. 秦の王が初めて中国を統一して始皇帝と名乗り、日本を含む周辺地域に大規模な軍隊を派遣した。
- 問12 古墳時代に見られる、上から見ると鍵穴のような形（一方が四角く、一方が丸い）をした古墳の特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。
(2021年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 聖徳太子による冠位十二階の制定と同時に、身分を示す墓として推奨された 2. 弥生時代に中国大陸から伝わった形式であり、主に北九州地方で多く見られる 3. 近畿地方を本拠とする大和政権の拡大に伴い、各地の首長に受け入れられた形式である 4. 鎌倉時代に幕府の許可を得た武士のみが、自分の領地に築くことができた
- 問13 古墳時代、朝鮮半島や中国から日本列島へ移り住んだ渡来人によって伝えられたもので、日本における記録や公文書作成の基礎となった文字を次の中から選びなさい。
(2019年 岡山県公立入試 類似)
1. ローマ字 2. 漢字 3. カタカナ 4. ひらがな
- 問14 仏教が伝来し寺院が建立されるようになる以前の時代、各地の有力者が自らの権威を示すために築いた、土を高く盛り上げた巨大な墓を何と言いますか。
(2022年 岡山県公立入試 類似)
1. 都 2. 古墳 3. 環濠集落 4. 貝塚